

『セル・シグナリング標的治療薬の DVD研究開発拠点の形成』 キックオフミーティング

日時 2010年4月16日(金)13:00-17:00

場所 慶應義塾大学芝共立キャンパス 3号館11階

プログラム

13:10-13:40 研究成果発表 グループ1

「病態に基づいた治療薬デザインと合成」

13:40-14:50 研究成果発表 グループ2

「がん, 免疫, 認知症, 糖尿病に対する標的分子の
探索とその相互作用の解析」

14:50-15:20 研究成果発表 グループ3

「分子標的治療薬の臨床応用のために不可欠な薬
物デリバリー機構解明とデリバリーシステム構築」

15:30-17:00 特別講演

「遙なる創薬

アルツハイマー病治療薬開発の夢を追って」

京都大学大学院薬学研究科 創薬神経科学講座

杉本 八郎 先生

『セル・シグナリング標的治療薬の 研究開発拠点の形成』 キックオフミーティング

日時 2010年4月16日（金） 13:00-17:00

場所 慶應義塾大学芝共立キャンパス 3号館11階

プログラム

13:00-13:10 研究計画の紹介 金澤 秀子（研究代表者）

13:10-13:40 研究成果発表 グループ1 座長 須貝

「病態に基づいた治療薬デザインと合成」

1. アポトーシス制御物質の開発と分子機構解析

医薬品化学講座 中村 成夫、増野 匡彦

2. 分子標的薬合成のための微生物酵素触媒の開発

有機薬化学講座 東 利則、庄司 満、須貝 威

3. 細胞内情報伝達因子を調節する糖鎖の合成

天然医薬資源学講座 木内 文之、羽田 紀康

13:40-14:10 研究成果発表 グループ2 (1) 座長 三澤

「がん，免疫，認知症，糖尿病に対する標的分子の
探索とその相互作用の解析」

1. 発がんウイルス分子による細胞内情報伝達機構の解明と
分子標的治療薬の開発

化学療法学講座 野口 耕司、杉本 芳一

2. 難治性悪性腫瘍に対する分子標的療法の確立

病態生理学講座 服部 豊、飯島 史朗

3. 神経ステロイド生合成系酵素を標的とする中枢作用薬の創
製

衛生化学講座 田村 悦臣

14:20-14:50 研究成果発表 グループ2 (2) 座長 三澤

4. サイトカインシグナル異常とアポトーシス異常をもたらす細胞内シグナル分子の解析と薬物との相互作用の解析

生化学講座 多胡 めぐみ、笠原 忠

5. 内在性神経毒類似タンパク質を標的とした新たな抗認知症薬の開発

薬理学講座 三澤 日出巳、奥田 隆志、森脇 康博

6. 糖尿病性腎症発症阻止を目的とする微量アルブミン尿発症メカニズムの解明

薬物治療学講座 細山田 真、柴崎 敏昭

14:50-15:20 研究成果発表 グループ3 座長 中島

「分子標的治療薬の臨床応用のために不可欠な薬物デリバリー機構解明とデリバリーシステム構築」

1. 水晶体内情報伝達機構の解明

分子機能生理学講座 岡 美佳子、竹鼻 眞

2. 血管内皮前駆細胞分化制御による血管新生阻害薬の開発と新規開発薬物の組織移行制御

薬剤学講座 中島 恵美、登美 斉俊、西村 友宏

3. 細胞内情報伝達分子を標的としたドラッグデリバリー及び可視化蛍光プローブの開発

創薬物理化学講座 西尾 忠、金澤 秀子

15:30-17:00 特別講演「遙なる創薬

アルツハイマー病治療薬開発の夢を追って」

京都大学大学院薬学研究科 創薬神経科学講座

杉本 八郎先生

17:00-17:10 挨拶 笠原 忠 (慶應義塾大学 常任理事)

17:30-19:30 懇親会